

## ◎株式相場見通し

【国内株式相場】予想レンジ 19,200円～20,000円  
国内株式相場は上値の重い展開か。北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりに加え、為替相場が円高基調で推移していることを受けて、売りが優勢になるとの見方が多い。一方で、前週に下落した反動から押し目買いが入りやすいことに加え、日銀による買い入れ期待もあり、株式相場は底堅く推移するとの見方もある。

【米国株式相場】予想レンジ 21,500ドル～22,100ドル  
米国株式相場は上値の重い展開か。株価が高値圏で推移するなか、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けて、利益確定目的の売りが優勢になるとの見方が多い。一方で、今週は個人消費や製造業関連など重要経済指標の発表を控えており、米国景気の拡大期待が高まる内容となれば、株式相場には買いが入るとの見方もある。

## ◎債券相場見通し

【国内金利】予想レンジ 0.00%～0.10%  
国内金利は低下か。北朝鮮を巡る地政学リスクへの警戒感から債券買い（金利低下）が優勢になるとの見方が多い。また、追加利上げ観測の後退を背景に米国金利が低下すれば、国内金利にも低下圧力がかかる可能性がある。一方で、17日の5年債入札を前に持ち高調整の債券売り（金利上昇）が入り、国内金利の低下幅は限定的との見方もある。

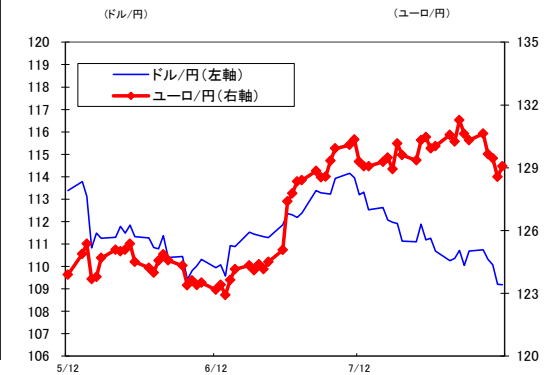
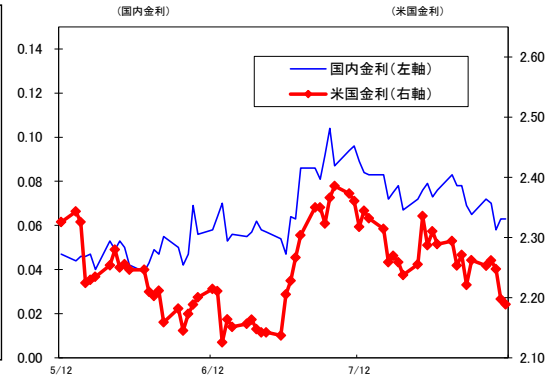
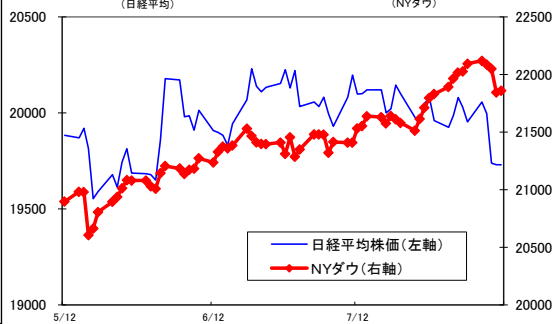
【米国金利】予想レンジ 2.10%～2.30%  
米国金利は低下か。前週発表された消費者物価指数が市場予想を下回り、追加利上げ観測が後退したことを受けて、債券買い（金利低下）が優勢になるとの見方が多い。また、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりも、債券の買い材料視される可能性がある。一方で、今週発表される経済指標が市場予想を上回る結果となれば、債券売り（金利上昇）が入るとの見方もある。

## ◎外国為替相場見通し

【ドル/円相場】予想レンジ 108.00～110.50円  
ドル/円相場はドルが下落か。前週発表された消費者物価指数が市場予想を下回り、追加利上げ観測が後退したことを受け、ドルが軟調に推移するとの見方が多い。また、北朝鮮を巡る地政学リスクが意識され、リスク回避目的の円買いが進みやすい環境にあることも、ドルの上値を重くする要因とみられる。一方で、15日に発表される小売売上高で米個人消費の改善が示されれば、ドルが上昇する可能性もある。

【ユーロ/円相場】予想レンジ 128.00～132.00円  
ユーロ/円相場はユーロが堅調か。ECB（欧州中央銀行）による量的緩和縮小観測は根強く、日銀の緩和継続との金融政策の方向性の違いが意識され、ユーロが上昇するとの見方が多い。一方、ドル/円相場と同様に北朝鮮を巡る地政学リスクが高まる状況となれば、リスク回避を目的とした円買いユーロ売りが進む可能性もある。

## ◎主要マーケットの推移



## ◎マーケット情報

### 【主要株価指数】

指標	週終値	前週末比
日経平均株価	19,729.74	-222.59
NYダウ(米国)	21,858.32	-234.49
ブラジルボベスバ指数	67,358.59	+460.61
上海総合指数	3,208.542	-53.54

### 【債券】

指標	週終値	前週末比
日本10年国債利回り	0.063	-0.002
米国10年国債利回り	2.1888	-0.0732
豪州10年国債利回り	2.588	-0.032
ブラジル10年国債利回り	10.118	+0.284
カナダ10年国債利回り	1.853	-0.069

### 【外国為替相場】

通貨	週終値	前週末比
ドル/円	109.19	-1.50
ユーロ/円	129.07	-1.24
豪ドル/円	86.20	-1.55
カナダドル/円	86.12	-1.41

## ◎今週のトピックス

【米小売売上高（8月15日）】  
今週は8月15日に7月分の米小売売上高が発表される。前回6月分は自動車関連の減速に加え、百貨店売上の低迷が引き続き重石となり、前月比▲0.2%と2カ月連続の減少となった。今回は前月比+0.4%と3カ月ぶりのプラス成長が見込まれている。ただし、結果が市場予想を下回り、米国景気の回復に懐疑的な見方が広がる状況となれば、米国株式は下落し、為替相場ではドル売りが進む可能性がある。

## ◎今週の経済指標・政治日程など

日	国	国内			海外			
		指標等	市場予想	前回	指標等	市場予想	前回	
14日(月)	中	4-6月期GDP(前期比)	0.6%	0.4%	7月小売売上高(前年比)	10.8%	11.0%	
		7月鉱工業生産(前年比)	-	-	中	7月鉱工業生産(前年比)	7.1%	7.6%
		6月鉱工業生産(前月比)	-	-	欧	6月鉱工業生産(前月比)	-0.5%	1.3%
15日(火)	独	6月鉱工業生産(前月比)	-	1.6%	4-6月期GDP(前期比)	0.7%	0.6%	
		8月ユーロ圏製造業景況指数	-	-	米	8月ユーロ圏製造業景況指数	10.0	9.8
		7月小売売上高(前月比)	-	-	米	7月小売売上高(前月比)	0.4%	-0.2%
16日(水)	欧	1年物短期国債入札	-	-	ユーロ圏4-6月期GDP(前期比)	0.6%	0.6%	
		7月貿易収支(億円)	3,271	4,398	米	7月FOMC議事要旨	-	-
		3か月物短期国債入札	-	-	米	7月消費者物価指数(前月比)	-0.5%	0.0%
17日(木)	米	5年物国債入札	-	-	8月FEDの7月製造業景況指数	18.3	19.5	
		7月貿易収支(億円)	3,271	4,398	米	7月鉱工業生産(前月比)	0.3%	0.4%
		3か月物短期国債入札	-	-	米	8月ミシガン大学消費者マインド指数	94.0	93.4
18日(金)								
19日(土)								
20日(日)								

※本資料は各種データに基づき参考資料として作成しておりますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。ここに記載された意見等が事前の連絡なしに変更されることもあります。したがってこれらにコメントに全面的に依存して市場性商品の取引導入を決定することはお勧めできません。また本資料は情報提供を目的とし、商品の売買勧誘や申し出を意図したものではありません。